

製品名: GDF3 (13A5) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11383**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	GDF3
別名	ecat9; GDF3; KFS3; MCOP7; Vgr2;
遺伝子 ID	9573.0
SwissProt ID	Q9NR23
免疫原	ヒト GDF3 の合成ペプチド

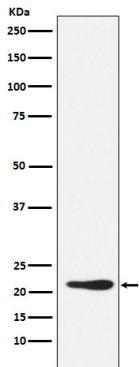
背景

初期胚発生および脂肪組織の恒常性維持に関与する成長因子。胚発生期には、受容体 ACVR1B と共受容体 TDGF1/Cripto（類似性による）を含む受容体複合体を介して、前内臓内胚葉および中胚葉の形成と前後構造の確立を制御する。初期胚発生および脂肪組織の恒常性維持に関与する成長因子。胚発生期には、受容体 ACVR1B と共受容体 TDGF1/Cripto（類似性による）を含む受容体複合体を介して、前内臓内胚葉および中胚葉の形成と前後構造の確立を制御する。ACVR1C および TDGF1/Cripto に基づく受容体複合体を介したシグナル伝達によって、栄養過負荷時の脂肪組織の恒常性とエネルギーバランスを部分的に制御する（PubMed:21805089）。

研究分野

-

画像データ



293T 細胞溶解物中の GDF3 発現のウェスタン ブロット分析。